

①最近、自由貿易と環境保護の両立の問題がわかに脚光を浴びている。関税貿易一般協定(GATT)は昨年二月、貿易と環境とを巡る報告書を公表し、自由貿易こそが環境保護を促進すると主張した。同時に過度な環境保護が他国への無用の干渉を招く危険性を警告し(特に環境モニタリング問題)、環境保護団体が保護貿易主義者に利用されるリスクを指摘している。

②他方環境保護団体は反ガットで閉結し、政界に対しても大きな影響力を誇示している。

③ガットに対する最大の挑戦は、国際環境協定の非締結国に対する貿易制限措置と自由貿易の原則をいかに調和させるかであり、すでに作業部会が検討を開始している。今後この結果は様々な局面で、わが国にも影響を与えると思われる。



東京海上火災保険
グリーンコミティ 事務局長
山口 光恒

所得向上通し 保全促す効果

イルカも同時に捕獲する漁法で捕らえたメキシコのマグロを輸入禁止とした米国の措置を、ガットの紛争処理パネルが違反と認定した九一年八月以降、自由貿易と環境保護の関係に対する関心が米國を中心として急速



に盛り上がった。これを機に米國の環境保護団体は反ガットで統一戦線を張り、連邦議会の中にも「シャット(下院)、ボーカー(上院)などの有力議員を中心に警告書を打ち、戦後の自由貿易体制の一翼を担ったガットは、環境保護団体(及びそれを擁護めとした保護貿易主義者)からの猛烈な批判にさらされている。

他方、途上國は、先進國の厳しい環境規制により自國産品が縮小せられたり、貿易制限を武器として先進國から自國の環境基準を押し付けられることとして、ガットを頼りにしている。自由貿易と環境保護の問題は多岐的貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)後のガットの最大のテーマであるが、本稿では、昨年二月に公表されたガットの「貿易と

過度な環境保護 自由貿易体制損なう恐れ

は、環境保護を目的として各種の措置がとられ、それが結果として自由貿易を制約している。例も多。

前記の報告書ではこうした貿易制限措置を自國の環境問題(他國の環境汚染の影響を直接被らないもの)に起因するものと、外国からの越境汚染や地球温暖化のような他國の汚染行為の影響を直接受ける問題に起因するものの二通りに分けた上

環境とを巡る報告書の論議を紹介する中で、環境保護と自由貿易の両立可能性について考えを述べた。

ガットはこの報告書の中で、自由貿易の一層の推進こそが、人々の所得の向上と技術の伝播を通じて、環境保護を促進すると論じている。しかし実際には

このうち、自國の環境保全のための商品に対する貿易制限措置(環境基準設定)が、結果として貿易制限措置となるケースについては、それが輸入品にのみ適用されるならば許容される。また、環境保護を自国とする場合はたとえそれが差別的であっても(一定の要件付き)例外として認められるとしている。このほか、貿易に対する技術的障壁に関する協定のスタンダード協定についても、これは自動車の排ガス規制等国内技術基準が事実上の貿易障壁となるのを防ぐことを目的としたものであるが、これも環境保護に關しての例外規定がある。

この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。このほか、自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。

ガット、両立を模索

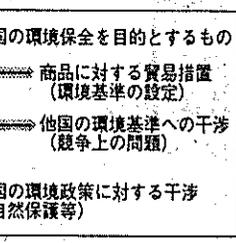
安易な制裁、ブロック化招く

トナケル事務局長は九一年に改正案を示し、その中で各國の厳しい基準が貿易制限措置として

い、自國への感慮におよぶことができないものである。

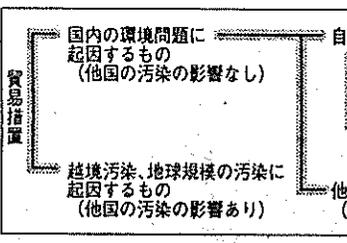
この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。

他方、環境保護団体は環境スタンダード問題や環境協定の非締結国に対する貿易面での制裁措置を求めて、一層の理論武装もし、人の感情にも訴えかけている。



この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。

他方、環境保護団体は環境スタンダード問題や環境協定の非締結国に対する貿易面での制裁措置を求めて、一層の理論武装もし、人の感情にも訴えかけている。



対象別多角的環境協定数 (1933~1990年)

貿易協定	10104001010
環境協定	127
合計	10104001010

貿易協定: 4125191365544316
環境協定: 127
合計: 10104001010

米國からの貿易制限措置の押し寄せられたが、これ以外に現時点では大きな問題はない。

しかし、今後環境管理システムなどが貿易制限的に働く恐れもあり、自由貿易の維持という大局の問題に加えて、こうした個々の問題についてもガットの場で大いに発言をしていくことが望まれる。

働くのを、科学的な根拠に基づき防止しようとしており、環境保護団体の怒りをかかって、それはともかく、現在のところ自國の環境保全のための輸入品に対する貿易上の措置はガットの認めるところとなっていない。

こうした問題について各國が貿易制限を使って他國に干渉する行動に出れば、自由貿易体制は崩壊し、世界経済のブロック化が進み、世界がガットのこのように主眼は環境保護団体の理解を得るには至っていない。

貿易措置の最後のもので、他國の汚染が越境して自國に被害を及ぼす場合、あるいはオン・オフ破壊や地球温暖化問題のようにすべての國の活動が何らかの影響を他國に及ぼす場合、他國に対して二方向的措置をとれるであろう。ガットによれば答えは否定的である。この種の問題では国際間の協力に対処するのが最も適切な分野である。

この点で難しい問題は当該協定に加入することによる便宜とコストが國によって異なることである。道義的責任を別とすれば、自國以外のすべての國が協定に加盟している状況が自國にとって最も有利である。ところがこれにより他國の負担が地球規模の環境問題が解決に向か

他方、現在の地球環境問題は事柄の重要さゆえに、また将来取り返しがつかなくなる恐れのために、地球規模で直ちに有効な対策を打たねばならない。これもまた明らかである。こうした意味で問題の重要性と緊急性については非締結国に対するかなり厳しい罰則も必要となる。

以上、ガットにおける貿易と環境の問題をガットの資料などを参考にまとめてみた。各論の問題につきガットなりに考え方が整理されているが、ガット創設時には環境問題がこれほど大きな問題になることは想定していなかった。

別組織の設立 合め論議必要

ガットの中に七一年に設置された環境監視機構であったが、貿易と環境に関する作業部会が活動を開始したところであるが、現下の情勢にかんがみ、第一のテーマは国際協定における非締結国への貿易上の差別的措置である。自由貿易の重要性を考えると、いかなる場合も、経済力の強い國が腕力に物を言わせて自國の主張を相手に放棄せざるべき一方の貿易制限を課することはあってはならない。

この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。

この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。

この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。

この結果は自國の環境基準の引き上げにつながる恐れもあり、また、自國企業が環境基準の低い他國へ移転する契機となる。